

(地独)栃木県立がんセンター
研究所

未来の医療を一緒につくる

研究所かわら版

Vol.3

栃木県立がんセンターでは、治療だけでなく研究にも力を入れています。 同じ施設内で研究を進めることで、がんの仕組みをより深く理解し**県民に最新で質の高い医療を届けること**を目指しています。
そのため、研究者たちは日々さまざまながん研究に取り組んでいます。

分子病理分野

DNAメチル化に基づく肝細胞癌の分類

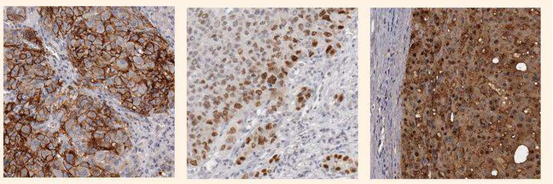
肝臓のがんである肝細胞癌は、一人ひとり性質が異なり、同じ治療でも効果に差が出ます。私の研究しているDNAメチル化とは、遺伝子に付いた小さな印で、その遺伝子を使うか使わないかを調節するスイッチです。そこで、DNAメチル化のパターンにより肝細胞癌の性質を分け、がんを取り巻く免疫状態を分析した結果と併せ、肝細胞癌を5つのタイプに分類することに成功しました。

これにより、「どのがんにどの薬が効くか、再発しやすいか」を判定できるようになりました。



分子病理分野　主任研究員
山﨑　剣
（やまざき　けん）

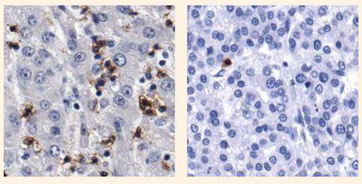
学生時代の研究テーマは発生学。パズルを完成させていく「発生」と違い、「がん」は、ピースがはまらなかったり、増えたり、移動したり。最初はかなり戸惑いましたが、今では、それががんの個性だと思うようになりました。



DNAメチル化パターンの違いを免疫染色で判別

⬇

免疫細胞の量は多い？少ない？



⬇

５つのタイプに分類
(薬の効果や再発の可能性を判定)

県民のみなさんへ

がん治療の進歩に、研究は不可欠です。研究成果をすぐに臨床応用するのは難しいですが、未来の医療の発展のため努力しています。ご理解とご協力をお願いいたします。



ご寄付のお願い

地方独立行政法人栃木県立がんセンターでは、県民や団体の皆様からのご寄附を受け付けております。頂いたご寄附は、がんセンターの運営、研究の発展のため有効に活用させていただきます。また、使用用途をご指定いただくことも可能です（例　〇〇のがんの研究に使用してほしい、研究所で使用してほしいなど）。皆様のご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

詳細はこちらからご覧ください

栃木県立がんセンター　寄付　検索

(地独)栃木県立がんセンター
研究所ホームページ